

2/19
(金)

森林づくり推進協が植樹体験開催 緑豊かな森を願う

2月19日、長島の森林づくり推進協議会(原口元昭会長)は、川床小学校の5年生15人を対象に県の森林環境税事業を活用した植樹体験活動を行いました。

児童らは教室で森林の役割などについて説明を受けた後、山門野集落にある森林へ移動。同会員の林業事業者からの協力を受け、スギとコウヨウザン計100本植樹しました。木材として切り出される約40年後までの成長を願い、作業に励みました。

浦嘉璃奈さんは「木をまっすぐ植えることが難しかった。成長が楽しみ」と充実した様子でした。

このほか、24日には、蔵之元小学校の5年生11人を対象に同活動が開かれ、同地に70本植栽しました。



くわで土を掘る児童

2/24
(水)

北薩摩の地域振興表彰 島のごちそうが受賞

北薩地域の振興に貢献した個人と団体に贈られる北薩摩の地域振興表彰で、島のごちそう(幣串)が受賞しました。同グループは島内の事業者と協業し、特産品の全国展開や漁業体験など獅子島の活性化に取り組んでいます。

ふるさと納税の優良な取り組みを表彰する「ふるさとチョイス AWARD 2020」受賞や島内の雇用創出、多くのメディア出演での島の魅力PRなどが評価されました。

2月24日、県北薩地域振興局で行われた表彰

式で、山下城代表は「受賞できてうれしい。『未来につなぐ島づくり』が実現しつつある中、今後も精進したい」と気を引き締めました。



受賞した山下代表(写真右)

3/2
(火)

田尻公民館が地域づくり表彰受賞 元気な田尻目指して

令和2年度鹿児島県共生・協働型地域コミュニティづくり推進優良団体表彰で、田尻自治公民館が奨励賞を受賞しました。

これは地域社会づくりに成果を上げる団体を称えるもので、県コミュニティづくり推進協議会が主催するものです。同公民館は少子高齢化の課題を抱える中、防災のためのインフラ整備や収量を上げるための畑かん整備などに住民一体となって取り組んできた地域づくりが高く評価されました。

3月1日、川添町長に受賞報告した上窪正志館長は

「皆の協力があつてこそ。元気な地域づくりを今後も進めたい」と話しました。



報告に訪れた上窪館長(写真右)